

賑わい交流拠点施設に関する質問への回答

FAQ

事業者から施設内容や維持管理運営方法について提案を募るようですが、施設の内容等の最終的な決定は、いつ、どのような方法で決めるのですか。

A

令和7年11月に企画競争入札（プロポーザル方式）により事業者からの提案内容を審査・決定します。提案された施設内容等については、令和7年度内の公表を予定しています。

※ 企画競争入札＝価格だけでなく提案内容全体を踏まえて事業者を決定する入札方式。

FAQ

スポーツ施設が多く、若い世代向けの公園というイメージがありますが、幅広い年齢層が利用できる施設は整備されますか？

A

事業者が施設内容等について提案を行う際の基準として要求水準書を示しており、幅広い世代の皆様が利用できる施設の水準を定めています。また、事業者が実施しなければならない自主事業には、各スポーツ施設を利用した定期的なスクールや、幅広い世代の皆様が参加できるようなイベントの開催を求めています。

FAQ

施設整備や維持管理費用は、どのくらいですか？

A

公表しているモデルプランにおける施設整備費及び維持管理運営費（16年間）について、現時点の制度に基づく積算（概算）は以下のとおりです。

○施設整備費（整備期間：R8年度・R9年度） 約18億円（税込）

（内訳）・補助対象経費 実施設計費、公園整備費
・補助対象外経費 基本設計費、備品代等

施設整備費	約18億円【R8年度、R9年度】			
財源内訳	補助対象			補助対象外
	社会資本整備総合交付金 （国庫補助金）約48%	町債 約44%	一般財源 約5%	一般財源 約3%

※ 一般財源には、企業版ふるさと納税が含まれます。

○維持管理運営費（委託期間：R9年度～R24年度 16年間） 約22億円（税込）

（内訳）・維持管理運営費（賑わい交流拠点施設 15年間、パークゴルフ場 16年間）
・開業準備費、特別目的会社設立経費及び運営経費等

維持管理運営費	約22億円【R9年度～R24年度（16年間）】	
財源内訳	施設使用料等 約11%	一般財源 約89%

FAQ

賑わい交流拠点施設を含む、おおがわら千本桜スポーツパークの整備規模は、かなり大きいものになりますが、その理由は何ですか？

A

おおがわら千本桜スポーツパークは、町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出を目指し、子供から高齢者まで楽しめる複数のスポーツ施設を整備していることや、将来的に桜まつりや夏まつり等、様々なイベント会場として利用することも想定し設計しているため、町内の都市公園の中でも最も規模の大きな公園になっています。

問合せ先▶地域整備課 都市計画係（3階③番窓口） ☎0224-53-2445

おおがわら千本桜スポーツパーク

賑わい交流拠点施設の整備状況をお知らせします

おおがわら千本桜スポーツパークの整備につきましては、現在、賑わい交流拠点施設の土台となる盛土造成工事（令和6年度～令和7年度）を実施しており、施設全体の形が徐々に分かるようになってきました。

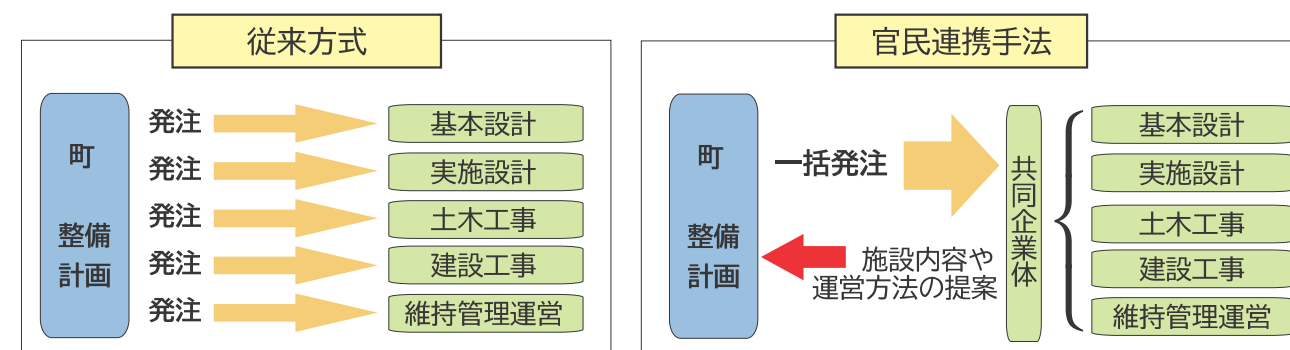
本年度は、昨年度に引き続き、堤防側の盛土造成と町道上大谷線から本施設への取付け道路、調整池等の整備を実施します。

施設整備及び維持管理運営を行う事業者の募集を開始しました

賑わい交流拠点施設の施設整備及び維持管理運営には、町内の公園整備で初めて官民連携手法（PFI手法BTO方式）を導入することとし、実施する事業者の募集を開始しました。

官民連携手法を導入した公園整備のメリット

設計・建設・維持管理・運営業務を個別に発注する従来方式に比べ、一括発注することが可能になり、コストの低減が図られることや、維持管理運営を考慮した施設設計や建設が行われ、効率的で利便性の高い公共サービスの提供に繋がります。



また、事業者から施設内容や運営方法等の提案を募ることで、住民懇談会やアンケート調査の結果を反映させた公園施設内容（モデルプラン）や施設の運営方法等に、事業者独自の創意工夫やアイデア、ノウハウ、技術力等が加わり、より一層魅力ある施設整備や維持管理運営を行うことが可能になります。

